

## 福祉・介護職員等処遇改善加算に係る

### 「見える化要件」について

#### 見える化要件

Visualization

#### 1 「福祉・介護職員等処遇改善加算」とは

処遇改善加算とは、平成23年度まで実施していた福祉・介護処遇改善事業における助成金による賃金改善の効果を継続する観点から、平成24年度から当該助成金を円滑に障害福祉サービス等報酬に移行し、当該助成金の対象であった障害福祉サービス等に従事する福祉・介護職員の賃金改善に充てることを目的に創設されました。

2024年（令和6年）年度の障害福祉サービス等報酬改定で福祉・介護職員等処遇改善加算が一本化され、処遇改善加算（福祉・介護職員等処遇改善加算）となりました。

当法人では、職員の賃金改善、職務内容の整備や研修の機会などのキャリアパス要件、また、職場環境の整備などにより、算定要件を満たしていることから、この「福祉・介護職員等処遇改善加算」の申請を行い加算が適用されています。職場環境要件を公表することが「見える化要件」として、新たな算定要件として追加されたため、具体的な取り組み内容をホームページへの掲載等により公表します。

#### 2 職場環境要件の取り組み内容

##### （1）入職促進に向けた取り組み

職場環境要件項目	法人としての取り組み
他業種からの転職者、主婦層、中高年齢者等、経験者・有資格者にこだわらない幅広い採用の仕組みの構築	正規職員からパート職員まで、有資格にこだわらず、障がい者（児）に温かなサービスを提供していただく者を幅広く採用を行っている。

合同会社 リレーション> 福祉・介護職員等処遇改善加算の見える化要件

(2) 資質の向上やキャリアアップに向けた支援

職場環境要件項目	法人としての取り組み
働きながら国家資格等の取得を目指す者に対する受講支援やより専門性の高い支援技術を取得しようとする者に対する各国家資格生涯研修制度、サービス管理責任者、業務関連専門技術研修の受講支援等	法人内各事業所において、職員それぞれの成長、経験に合わせ研修の機会を年間計画等に沿って提供し、各サービスに合致した体制整備に努めている。
上位者・担当者等による面談など、キャリアアップ・働き方等に関する定期的な相談の機会の確保	随時相談や面談の機会を設け、様々な働き方に対応できるよう努めている。

(3) 両立支援・多様な働き方の推進

職場環境要件項目	法人としての取り組み
有給休暇を取得しやすい雰囲気・意識作りのため、取得状況を定期的に確認し、積極的な声掛けを行っている。	会議等で有給休暇の取得状況を報告し、上司から取得できるシフト体制を構築し、積極的に声掛けを行っている。
有給休暇の取得促進のため、情報共有や複数担当制等により、業務の属人化の解消や隔たりの解消に取り組む。	組織全体の効率性、生産性が低下することがないように共有化を図り複数担当制を実施

(4) 腰痛を含む心身の健康管理

職場環境要件項目	法人としての取り組み
短時間勤務労働者等も受診可能な健康診断・ストレスチェックや、従業者のための休憩室の設置等健康管理対策の実施	正規職員に限らず、短時間勤務労働者等への定期的な職員健康診断の実施
事故・トラブルへの対応マニュアル等の作成等の体制整備	常に事故防止や対応マニュアルに沿った対応を進めている。また、随時マニュアル等の更新を実施している。

合同会社 リレーション> 福祉・介護職員等処遇改善加算の見える化要件

(5) 生産性向上（業務改善及び働く環境改善）のための取組

職場環境要件項目	法人としての取り組み
現場の課題の見える化（課題の抽出、課題の構造化等）を実施している。	各事業所内で、課題等を抽出し、改善に向けた会議を実施している。
5S活動（業務改善の手法の1つ。整理・整頓・清掃・清潔・躰の頭文字をとったもの）等の実践による職場環境の整備を行っている。	職場環境が5Sに沿って整備されているか職員のチェックリスト等で確認し、改善箇所は直ちに実行に移している。
業務手順書の作成や、記録・報告様式の工夫等による情報共有や作業負担の軽減を行っている。	業務マニュアルを定期的に見直し、また、各事業所内での利便性を考慮し記録や報告様式の工夫を行っている。

(6) やりがい・働きがいの醸成

職場環境要件項目	法人としての取り組み
ミーティング等による職場内コミュニケーションの円滑化による個々の福祉・介護職員の気づきを踏まえた勤務環境や支援内容の改善	情報の共有を図るため、毎月の職員会議、管理者会議において、各事業所に必要な留意点、改善点、支援の在り方について検討を行い改善に努めている。
利用者本位の支援方針など障害福祉や法人の理念等を定期的に学ぶ機会の提供	各事業所内で随時、研修を行い、学びの機会の提供を行い、利用者、第一主義に徹している。
支援の好事例や、利用者やその家族からの謝意等の情報を共有する機会の提供	外部研修等を通し、支援技術の情報交換を図りまた、内部研修を行うことに、情報共有を行っている。